

# 桐生西ロータリークラブ週報



2019-20年度RIテーマ マーク・ダニエル・マローニーRI会長  
 ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ



例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155  
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777  
 会長 新木明夫 幹事 山形 剛 クラブ会報・雑誌担当 松戸義澄  
 公共イメージ委員長:阿左美博 委員:金子福松、江原利夫(歴史編集:江崎和典) 唐澤聖弘

No. 2175

2019年9月6日発行

## 第2304例会 (2019・8・30) 報告

### 地区補助金 わたらせ養護園椅子補充事業 贈呈式例会開催

正午～昼食 (例会場:わたらせ養護園2F会議室)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
3. 来訪者紹介
4. 会長の時間
5. 幹事報告

6. 地区補助金贈呈式
7. 施設代表者挨拶 施設長 太田徹様
8. 施設の概略説明 施設長 太田徹様
9. 質疑応答
10. 点 鐘
11. 贈呈品・施設見学並びに入所者の皆様と交流



わたらせ養護園会議室での例会、新木会長事業内容説明 新木会長から太田施設長様へ目録贈呈 太田施設長様に施設の概略をお話頂きました



とんがり屋根の素敵な園舎です 職員の皆様にも同席して頂きました 施設の歴史や現状に耳を傾ける会員各位 司会進行は山形幹事

8月30日(金)の第2304例会で、地区補助金“わたらせ養護園椅子補充事業”の贈呈式を行いました。

わたらせ養護園には5年前にも地区補助金事業として椅子40脚を寄贈しましたが、消耗が激しく、今回も予算内で購入できる椅子をというご要望にお応えしてお贈りする事になったと、新木会長から説明がありました。

その後、目録贈呈が行われ、続いて、太田徹施設長様よりご挨拶と施設の概要を詳しくお話して頂きました。

開園当初(昭和41年)は知的障害を抱える幼児30名に治療教育を施す施設であったのが、現在は幼児は数名で

小中学生が大半を占め(定員40名)、施設から学校へ通っているそうです。その為、備品の入替や設備の改築が必須となり、この度の椅子寄贈も施設の現状のニーズに即して行ったものです。

当園は基本的な生活習慣や社会性を養う為、専門的な教育指導を熱心に愛情を持って行っている様子が、施設を訪問して良く分かりました。

最後に施設の見学、納品されたばかりの新しい椅子を見せて頂くと共に、可愛い園児達を抱っこやおんぶしたりしてスキンシップを行って参りました。

#### ◆ビジター

わたらせ養護園 施設長 太田 徹 様  
 " 事務長 久保田 優子 様  
 " 児童発達支援管理責任者 新井 元気 様  
 " 指導部主任 長谷川 綾子 様  
 " 指導部副主任 柿沼 佳奈 様

#### ◆会長の時間

新木会長

1. 本日はわたらせ養護園様には例会場の提供、施設の

見学など大変お世話になります。また、天候の悪い中、クラブ運営委員会さんには駐車場や会場案内などお手伝いして頂き、ありがとうございました。

2. 先日の納涼家族会ではクラブ運営委員会さんを始め会員の皆様にご挨拶となり、有難うございました。

#### ◆幹事報告 山形幹事

◇9月2日(月)桐生プリオパレスが閉館ですので、事務局もお休みです。8月31日(土)は勤務します。





梱包から出したばかりの新品の椅子です。ロータリーシールを貼らせて頂きました。新しい椅子は食堂に置かれています。古い椅子と混在です



無邪気で可愛い園児と触れ合い笑みがこぼれます きれいで明るく開放感のある素敵な建物です 「もう帰っちゃうの?」と言われ切なさが残ります

### 地区女子会“女性の美い”に参加

地区女性ネットワーク委員会主催の地区女子会が、8月24日(土)午後4時30分から、伊勢崎プリオパレスで開催され、当クラブから新井みゆき君、浦野幸子君、堀江絹子君の3名が参加しました。

第1部ではアロマオイルを使っ  
てのクラフト作り、第2部では討論会を、その後には懇親会が行われ、当クラブ会員3名が大活躍して会場を大いに盛り上げたそうです。参加女性会員の皆様、大変お疲れ様でした。



桐生RC女性会員と共に

### 土地家屋調査士 江原利夫事務所

代表 江原利夫  
桐生市新里町新川4004-5  
TEL 0277-74-6190

### 安 養 寺

住 職 船戸義澄  
桐生市新里町新川2422  
TEL 0277-74-1501

### シェカール・メータ氏を 2021-22年度 引会長に選出



国際ロータリー会長指名委員会はインドのシェカール・メータ氏(西ベンガル州カルカッターマハナガルRC)を、2021-22年度国際ロータリー会長に選出しました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミニーとして宣言されます。

メータ氏は、現在の会員傾向には課題があり、会員増強がロータリーの最優先事項となるべきであると述べています。地域的な計画、ローターアクターのロータリークラブへの移行、多様性と女性会員の増加によって、毎年5%の会員数純増が達成できると確信しています。

また、ロータリーが新しい地域や国に拡大していくことができると考えています。

メータ氏は、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長で、会計士でもあります。また、カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクターも務めています。

災害救援活動に積極的に参加してきたメータ氏は、シェルターボックス(英国)の理事です。2004年に発生したインド洋での津波の後、被災者のための約500戸の家の建設を支援しました。

南アジアで1,500件以上の心臓外科手術を提供したプログラムを立ち上げたメータ氏は、インド全土での識字率向上をはかる「TEACHプログラム」の創設にもかかわり、このプログラムを通じて何千もの学校に支援を提供しました。

1984年にロータリーに入会したメータ氏は、RI理事、複数の委員会の委員および委員長、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、ロータリー財団専門家グループメンバー、地区ガバナーを歴任したほか、インド・ロータリー財団の会長を務めています。

超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞しており、ラシ夫人と共にメジャードナー、遺贈友の会の会員です。(Rotary ウェブサイトより)

### 《次例会予告》

9月13日(金) 外部卓話  
桐生市長 荒木恵司様